

… 雨でも休まず；第87、88、89回 …

「若柳嵐山の森・小原本陣の森」から

- ・活動1：若柳嵐山の森：11月2日(第一土曜日)、参加費300円、弁当持参
    - ・森林整備に注力する。また、活動内容の充実について相談する。
  - ・活動2：小原本陣の森：11月10日(第二土曜日) 参加費300円、弁当持参
    - ・9時15分駅前集合。車分乗で行く。いよいよ本格的な間伐に入る。我と思わんもの男女、奮って参加されよ。
  - ・活動3：若柳嵐山の森：11月17日(第三土曜日)参加費500円、飯のみ持参
    - ・参加人数が多い。汁は、準備する主食(飯かパン)持参。
    - ・活動3、のみ申込必要：TEL&FAX 03-3411-1636(石村)
  - ・集合：相模湖駅前9時15分。8時43分、9時02分のJR高尾発に乗るべし。
  - ・服装；汚れても良い格好・着替え  足元が滑らない履物
  - ・持参品；軍手、自分の食器、万一の怪我に備えて…保険証写し
    - そして、作業を楽しむ“ゆとり”と怪我をしない「心構え」
- \* 今月、臨時活動は、ありません。

「川崎・横浜・湘南；水源の森を守る会」

- ◎ 熱心に参加してくれる森林仲間の内、川崎の小原さん・横浜の牧島さん・鎌倉の池田さんと兼松さんが川下都市部から「水源の森を守る」活動を提案した。森林に対して川上と川下の“共通の認識”を持たねば森林は守れないと言う考えからだ。また毎年、8千人も動員して湘南海岸の清掃をしている「日本渚の美術協会」を主宰する本間清さんとも行動を共にする事になった。こうなれば上流(相模川)～中流(相模湖)～下流(湘南)と桂川・相模川・相模湾が繋がる。これと都市部が連動して「水源の森を守る活動」ができれば神奈川県全域を網羅する事が出来る。
- ◎ 神奈川県が進める「水源政策」と協働するために上記の四氏と河西さん(相模湖/新つり会)で「協働して水源の森を守ろう」と県/企画部に申し入れをした。県は、歓迎して受け入れてくれた。そして、相模原市の吉田さんが、「相模川の清流を取りもどす会」を計画している。全く、凄い事を考え、行動に移す人たちだ。

・ 活動報告 1 : 若柳嵐山の森 (10月6日、第一土曜日)

… 報告 : 石村 黄仁

◎ 薄曇りのこの日は、21人が集まった。第一土曜日も徐々に参加者が増える傾向。

◎ 作業班は、大日向さんを頭に杉幼木地の下草かりと林床整理だが、蔓の絡む藪・藪・藪の中に杉がいじけて植わっている。幅幅3mほどを整理しながら急斜斜面を登ると尾根に出た。痩せて枝落としの全くしていない杉が整然と並んでいた。遠く威勢の良いチェーンソーのこだまが作業の進展振りを思わせた。

◎ 越谷から参加する建築士の中野

さんが上等のスーパーハウス(建築現場小屋)をくれたから、その受入れのために「里山の倉(中野さん名)」作りに建設班を立ち上げこれまた、建築士の大坪さんを指導員にして基礎づくり組んだ。大坪さんは、中野さんからの指示の図面を一目で判断して建築班の10名にテキパキの指示を出した。班員は、丸太を森から引き出し指定の長さに切る。基礎となる杭には焼きを入れる。見事なチームワークで事が進んで行く。越谷からの小屋の運搬は、和田さん・松尾さん・斉藤(重)さんがやってくれた。4時頃、森に着いたが全員が待って、荷おろしを手伝った。



森を貸して下さっている鈴木オジサン(重紙)に森のいろんな話しをして頂いた。

・ 活動報告 2 : 小原本陣の森 (10月12日、第二土曜日)

報告 鈴木敏美

- 快晴・絶好・間伐シーズン始まる。前回作業で選木しておいた枯損木、被圧木、曲り木などを中心に伐採作業開始。初参加の五十嵐さん歓迎。伐採一本ごとに暗い森の天井にポッカーと青空がのぞく。午前の作業で25本ばかりも片付けた。「多様な生態系の森」に一步前進している実感がある。今回から調達したばかりの間伐用専用鋸の切れ味が素晴らしい。大事に使って行きたい。数も増やしたい。
- 午後は、前回に準備しておいた材を加工してベンチづくりに取り組んだ。立派な作業基地の完成だ。余裕の時間で追加選木もこなした。
- [今月の野鳥] : そろそろ冬の渡り鳥の季節だ。徐々に紹介する。今は、ドングリ集めのカケスがけたたましい。

・ 活動報告 3 : 技術講習会 (10月14日、祭日)

指導 : 園田安男

- 快晴秋晴れの10月14日: 体育の日の「間伐技術講習会」には、18人が集まった。7月・8月にやった杉幼木の下草刈りの奥、20年生位の檜林。物凄い蔓の絡まる急斜面の林を9月・10月で開いたが、ここを実地の技術講習会場とした。足場も悪く急斜面・浮き石の危険の伴う絶好の実技訓練と園田大棟梁は言う。基本指導を受け、ベテランの大日向・斉藤(重)・鈴木(敏)さんをリーダーにして、

それぞれ受講者4人づつを受け持ち横に展開して各自3本づつ程度をこなした。

・横に展開と言う事が重要で浮き石が転がり落ちると大変な事故になってしまうからだ。半日の作業でも森の雰囲気もゴロリと美しく変身している。

●午後は、鈴木オジイサンからこの地の森林の背景：相模湖ダム建設の経過や昔の町の様子を聞いた。実務だけでなくこのような講習会も大切な事を改めて思った。

●またまた、荒井さんが大量の立派なナメコを持参してくれて、お昼は、味噌仕立て豆腐入りのナメコ汁となったが、こんな旨い物を食わせてくれる森の恵みに仲間たちは満足・満足。満ち足りてお変わり希望が続出。“思い出すなぁ～、あれは旨かったぁ～”。  
石村記

#### ・ 活動報告 4 : 第三定例活動日 (10月20日)

報告 須藤 章

- 曇り、時々小雨の中、43人の仲間が集まった。炊事班を炭窯広場に移した。炊飯をかしぐ煙りは、森の仲間たちの心を豊にしているように見えた。
- 小雨の中、森林整備は、森の中に入って行った。お昼には、雨と汗でグッショリと水を浴びたようになって戻って来た。本当に頭の下がる思いだ。
- 越谷から先週運んだ作業小屋の準備のために製材班は、手始めに製材機で三枚の板を仕上げた。森から丸太、板までの道筋が全部見えるのは、嬉しい。森林と家を建てたい人を直接結ぶこんな家の建て方も我々の進めている活動の目的の一つだ。何んとか組織化して森にお金を返すようにしたい。
- 花畑班は、西君の進めている養蜂：蜂の蜜採集を助けるためにレンゲやクローバーの種をまいた。活動をもっと楽しくするためにお花畑の真ん中に“バーベキュー炉”を作ろうと清水さんが沢山の大きな大谷石を持ち込んでくれた。今年の正月は、猪鍋を楽しんだが、この森にも猪がいるから畷をかけて「猪(シシ)カバブ」でもやってやろうか。誰か、「猪わな」の掛け方を教えてくれえ～。

#### ■ 生態系調査報告

報告 篠田授樹

前日19日に仕掛けた昆虫用トラップ(ベイトトラップ、ライトトラップ)と春から設置していた衝突板トラップを回収した。昆虫調査は予定通り、春(5月)・夏(7月)・秋(10月)と3回実施。昆虫は、微小なものが多く顕微鏡を使って採集種の固定と分析をする。嵐山山頂で今年初めて冬鳥のジョウビタキを見た。里では秋虫が鳴いているがちょっと注意深く観察すると確かな季節の移り変わりを実感できる。来月11月は、森の健康度を教えてくれる土壌動物調査。普段、踏みしめている足元で生きている小さな生き物も森林環境の非常に大切な役割を担ってくれている。こんな森の仲間を観察してみませんか？

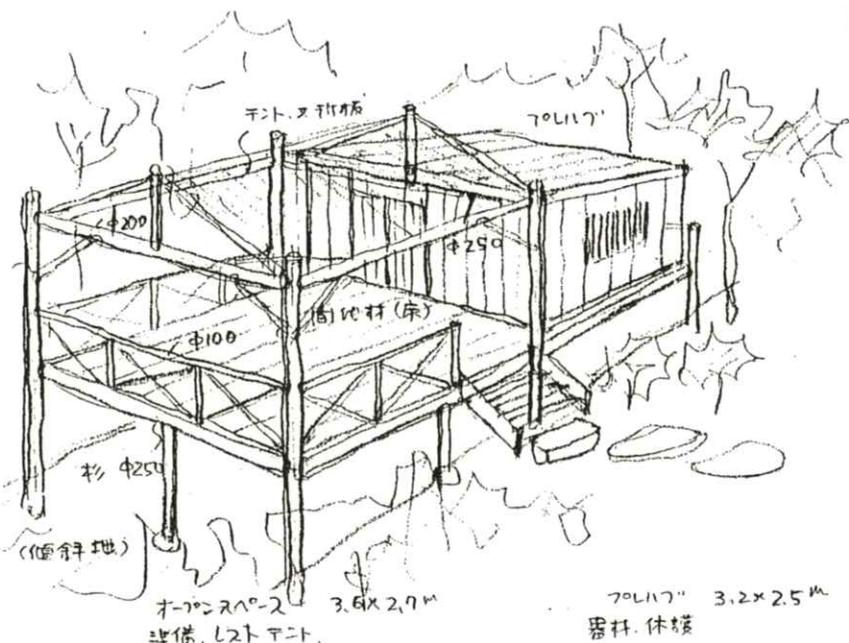
#### 大月便り (10月29日/第四曜日)

報告 河西悦子

ぐずついた空模様のこの日、遠く2時間もかけて来て下さった相模原の田中さん、富士吉田から……さん(触れなさい、お名前を忘れてしまった)を交えて8人の活動となった。森林作業班は、大月短大の橋本君とその学生さんたちが石村さんを隊長にこの森の観察巡回道づくりに取り組んだ…と言うのも来る、12月8日に「桂川・相模川流域協議会」のシンポジウムを大月で開催するが、午前中は、この森に来て活動してもらおう事にしたからだ。…と言う算段だったが、10月20日過ぎに突発事故発生。理由のわからないままに地主さんから森に入らないで欲しいの連絡があった。アレコレの情報から推定するところいろんな事が絡んでの複雑な事情らしい。石村さんの曰く、「森林活動には付き物、問題なし。この現象はステップ・アップの予兆、他をすぐ当たれ」の指令。だが、そう簡単じゃない。頭が痛い。「何いってんの、こんな事があるからボランティア活動が面白いんじゃないか」と石村さんの叱咤激励。勉強になります。

中野さんの名付けた…“里山の倉：作業小屋”作り始まる。

越谷から森林に参加する中野さんが上等の作業小屋を寄贈してくれた。これを十月の第一活動日に森林仲間（和田・松尾・斉藤）が相模湖まで運んでくれた。ここでも、和田さんを棟梁に森で見せる見事なチームワークを発揮した。4t車・ロングが必要と言う事で困ったが松尾さんが「俺がヤッテヤルウ～」と名乗りを挙げてくれて、またしても全てが準備された状況になって事が進んだ。



月次運営会議：10月18日

鎌倉や日の出町など随分と遠くから、しかも夜の打合わせに都心のド真ん中：渋谷(マルモ出版社)に、何んと12人の熱心な森林仲間が都会に進出して集まった。遅くまで真剣に話し合う姿が神々しく思えた。騒がしくて随分とご迷惑な事だろうと思うが、場所提供のマルモ出版の社員の皆さんに感謝。

- 1、報告：NPO法人にして9月から会員制にして、入会金・年会費をお願いした…別紙に報告。  
知らない人や知らない会社からの続々と入会があって「そんなに理解して下さっていたのか」と感謝と感激しつつ驚いている。こんなご奉施を“一円たりとも”無駄にしまいぞと報告した。
- 2、森林は、空気や水を提供してくれる極めて公益的な存在だ。だから、全ての人々と協働しなければならぬ。神奈川県が「市民との協働事業」を募集している。これに挑戦する事を採択した。
- 3、西君が我々のフィールドを花一杯運動を提案して来た。そして、養蜂して森に経済性を持たせる仕組み(お金を作り出す仕組み：FSCの基本思想の一つ)を試みようと言う事だ。全員賛成。これに取り組む事を決定した。  
・そこで先ずは、11月の第三定例活動日には、その第一弾として200人規模で蜜蜂場横のシノ竹と蔓の侵入して荒れている広葉樹林を地揃え(花の咲く木を植えるための整地)をする事とした。
- 4、時間が遅くなって終電に間に合わなくなる恐れもあり次回に引き継ぐ検討事項は、以下の通り。  
イ、我々の森でも考えたい「善意の互換：地域通貨」：通貨と言うがお金の事ではない善意の交換。  
ロ、フィールドが広いので「フィールド地図」が必要と言う提案…別紙白地図：地名提案されたし。

- 
- 1) 11月2日(第1土曜)：若柳嵐山の森  
9時15分駅前集合、参加費300円  
\*土曜日になっている…注意
  - 2) 11月10日(第2土曜)：小原本陣の森  
9時15分駅前集合、参加費300円
  - 3) 11月17日(第3土曜)、若柳嵐山の森  
篠刈り大会… 参加費500円  
\* 今月は、臨時活動なし。

モットー 急がず、休まず、楽しく、無理せず  
ボチボチと…、そして…沢山のご意見下さい。  
名称 NPO：緑のダム北相模／森林部会  
事務局 154-0023  
東京都 世田谷区 若林3-35-9  
TEL&FAX 03-3411-1636(自宅)  
TEL 03-3411-0602(事務所)  
お関係 石村黄仁 (自然科学研究所 事務局)

HP ; [http://www13.u-page.so-net.ne.jp/rk9/moritomo/so-net\(u-page\)](http://www13.u-page.so-net.ne.jp/rk9/moritomo/so-net(u-page))

ご支援自然保護団体：WWF・日興インベスターズ基金、セブン・イレブン：みどりの基金、